令和6年度 甲府市社会福祉審議会

第3回全体会

議 事 録

甲府市福祉部総務課

令和6年度 甲府市社会福祉審議会第3回全体会

開催日時：令和7年2月25日（火） 14時00分～15時30分

場 所：甲府市役所本庁舎6階 大会議室

出席委員：丸山正次委員長、外川伸一委員、山田文夫委員、保坂保委員、茅野昭勇委員、
加藤真紀子委員、古屋知子委員、越水眞澄委員、岡村昌典委員

欠席委員：柄沢眞委員、山本秀樹委員、星野和實委員、志田昌子委員、
寺田是委員、神吉まゆみ委員、荻原隆宏委員

担 当 課：【福祉部】

輿石福祉部長、石川福祉支援室長、神宮寺健康保険課長

【保健衛生部】

永倉保健衛生総室長、渡辺生活衛生室長、深井健康政策課長、
三枝医療介護連携担当課長、浅川地域保健課長

【子ども未来部】

里吉子ども未来部長、望月子ども未来総室長、村山子ども政策担当課長、
浅川子ども応援課長、小山田子育て支援課長、田野口子ども保育課長、
小田切母子保健課長

【甲府市社会福祉協議会】

横打地域福祉推進課長、有賀交流参画課長、浅川福祉支援課長

事 務 局：窪田福祉総室長、神田福祉総務課長補佐、望月福祉総務課計画係作業主任

傍 聴：なし

【第3回全体会】

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 経過報告

4 議 事

(1) 「(仮称) 甲府市こども計画 (素案)」の策定について

(2) 「甲府市保健計画」に定める事業の令和5年度における
進行管理及び評価について

(3) その他

○資料

- ・資料 - 1 (仮称) 甲府市こども計画 (素案) 策定の背景
- ・資料 - 2 (仮称) 甲府市こども計画 (素案)
- ・資料 - 3 「(仮称) 甲府市こども計画 (素案)」に対する意見の概要と市の考え方
について
- ・資料 - 4 令和5年度甲府市保健計画数値目標設定事業 実施状況
- ・資料 - 5 経過報告

議題（１）「甲府市子ども計画（素案）」の策定について

資料１（仮称）甲府市子ども計画（素案）策定の背景

資料２（仮称）甲府市子ども計画（素案）

A委員

昨年の秋、社会福祉協議会で行っている「ようふくりレー」（子どもの着られなくなった服などを無料で譲渡す取組）の会場に行ったところ、大盛況であり、それを見て大変に意義のある活動だと感じた。そのような活動を地区で実施していたり、子ども食堂を地域でやっていたりするため、それを市でも評価して、広報などで宣伝してほしい（そうすることで、各地域での試みにも繋がる）。

A課長

非常に素晴らしい取組ということで、市としても情報共有し、広く市民の方に周知していきたい。

B委員

この計画は30歳未満までを対象にすると説明していたが、どのような経緯で年齢を規定したのか。

A課長

国のこども大綱などの定義に従い、30歳未満の若者も計画の対象にした。

C委員

児童の見守り隊の活動などを通じて、子どもがいる世帯が少ないと感じる。また、自治会でも高齢者の割合が高い。そのため、若者が居着き、子どもが増えるような計画としてほしい。

A課長

今回の計画は若者も対象にした計画となっている。この計画を基に、将来的に若者が甲府市に残り、新たに甲府市に来てくれるような成果に繋がるよう取り組んでいく。

D委員

この計画の評価指標の指標3について、なぜ単位が「点」なのか。他の指標と同様に「％」に変更した方が比較しやすいのではないかと。

A課長

指標3については、「甲府市市民実感度調査」の調査項目を記載しており、この調査結果が点数表記されているため「点」を単位としている。また、調査の性質上、「％」で表すのは難しい。

E 委員

この計画と総合戦略は切っても切り離せない関係にあり、子育て環境は合計特殊出生率に大きく関係してくるが、総合戦略との整合性・役割分担はどのように考えているのか。

A 課長

今回の計画は、「子育て支援」と「子育て応援」を両輪として子どもを産み育てやすい環境を作るという目標を掲げている。

総合戦略についての明記はないが、「子育て支援」と「子育て応援」の両輪で取り組むことで、人口減少・少子化対策に繋がる計画としている。

E 委員

人口戦略会議（「甲府市地域創生戦略会議」：総合戦略を推進するための産官学金労言士からなる会議）の提言も鑑みて、合計特殊出生率という意味からすれば、自然減を抑えるよりも自然増にもっていくことが非常に大切だと言われている。この計画は、中期や長期で見ても効果があるということにならないと総合戦略との整合性が図れないと考えており、子育て環境は自然増減に非常に関係してくるため、甲府市の組織内部で各部署が綿密に役割分担しながら、総合戦略との関係を考慮していく視点が必要だと考えているが、この点で補足の説明をいただきたい。

B 部長

総合戦略は市の人口減少対策として、子育てや就労、生活環境など様々な要素を取り入れてできている。これから策定する本計画も、総合戦略の取組として一体となって連携する中で、自然増や社会増にも資すると考えている。

F 委員

この計画の評価指標には、子どもの増加などの値はない。それは総合戦略の評価指標になるということでもいいとは思いますが、やはり、この計画をどのように評価していくのかというときの重要なポイントになるため、今の意見を何らかの形で計画の中に取り入れていただきたい（例えば、考え方のアンケートへの入れ込み、子育て環境に繋がるようなものなど）。

G 委員

この計画の評価指標の指標7、8について、現状値が低いとその理由を調査の中で聴いているのか。聴いていればどのような理由なのか。

A 課長

指標7については、“どちらとも言えない”という回答が多かった。質問内容にある「愛着」の定義を、質問者（市）と回答者で共有できていなかった

ためと考えている。

また、指標8については、アンケートでは理由を確認できないが、ワークショップにおいて子どもや若者と話をする中で、東京などの都市と比較したときに、一旦は外に出てみたい、出てから先はまた考えてみたいという意見が多かったため、アンケートの時点では低くなっている状況である。

G委員

“どちらとも言えない”という回答はかなりの割合なのか。

A課長

40%程度である。

G委員

他都市と比較して甲府市のいいところがあるため、それを若い方にしっかり伝えていくことも大事だと思う。また、評価指標の5年後の目標値が低い
ため、高い目標を持つことも必要であり、質問の仕方を工夫すれば、違った数字が出てくると感じた。

E委員

評価指標7、8は社会増減に関係してくるため、人口ビジョンや、やはり総合戦略とリンクさせていく必要があると思う。特に評価指標7“甲府市に愛着を感じている”という項目の場合、“どちらとも言えない”という回答が多いということだが、二者択一ではなく、どの程度かを入れる得点方式にして、程度の差が分かるように検討していただきたい。また、評価指標3はまさに自然減に関係してくるため、これについても二者択一ではなく得点方式などを考えてほしい。

F委員

最終的なアウトカムまでを測り政策に繋げる観点が重要であるため、前述の意見を今後の計画に活かしていただきたい。

A課長

ご意見を踏まえて今後活かしていく。

H委員

この計画は「甲府市子ども未来応援条例」も踏まえているため、他都市とは違う甲府市独自のものとなっている。また、子どもの意見を取り入れたというところも非常に大きなポイントであり、今までの計画には無かった視点が初めて入ったと思う。

これを第一歩として、今後も子どもの意見を取り入れていただき、“甲府市に住みたい”、“甲府市が好きだ”という子どもたちを増やしていただきたい。

I 委員

障がい児の子育てなどについてはどうなっているのか。

A課長

基本施策2「こどもや若者の権利をまもる支援の強化」に障がい児への支援の取組を位置付けている。

資料3「(仮称) 甲府市子ども計画(素案)」に対する意見の概要と市の考え方について

I 委員

4-①については、障がい福祉課が窓口になるということか。

A課長

具体的、専門的なサービス内容になるため、障がい福祉課が窓口になる。

I 委員

情報発信と相談体制を充実していただきたい。

H委員

5-②について、提出意見の中に“障害のある幼児の「受け入れ拒否」が保育現場では行われています」という部分があるが、実際、子どもを受け入れるときのシステムからすると、一概に言い切れない、保育の現場の実際と相違している(障がいの有無にかかわらず入所決定を行い、その後、見学にすることもあるため)。

医療的ケア児に関しては、園の体制で難しい場合もあるが、障がい児に関してはほとんどの園が受入れしているため、市の考え方にその部分をしっかりと反映させた方がいいのではないか。

C課長

ご意見のとおり、障がい児の入所については各幼稚園・保育所等で受入れしているため、市の考え方の記載内容について見直しを行う。

E委員

パブリックコメントの制度上、意見のあったこと全てに対応するということにはならないが、例えば、1-①小中学校の学校給食の無償化について、「参考にさせていただきます」とあるがどう参考にするのか。財政部門と協

議し、それを上まで持っていき判断を仰ぐような仕組みが必要ではないか。市の考え方の記載について、より具体的に記載できるものは、参考とする以外の表記を検討してほしい。

D室長

学校給食の件は議会でも十分な議論をしている。今回の意見も担当部には伝達をしている。他の件についても、考え方をまとめていかなければならないものなどは参考とさせていただくとともに、今後、必要に応じて対応していく。委員のご意見を踏まえ市の考え方を記載する。

A委員

5-①について、子どもクラブ指導者連絡協議会の目的の中にも自立という文言があり、自立についてはそれぞれ多様な考え方があると感じた。

議題（2）「甲府市保健計画」に定める事業の令和5年度における進行管理及び評価について

資料4 令和5年度甲府市保健計画数値目標設定事業 実施状況

質疑なし

議題（3）その他について

質疑なし